

第15回

## 大友良英氏（音楽家）



### 学校で教えてくれない音楽 ——震災後の社会を生きる——

#### 担当スタッフより

朝の連続テレビ小説「あまちゃん」のオープニングテーマを覚えている方も多いでしょう。今回の講演はそのオープニングテーマを作曲した音楽家の大友良英さんです。

学校で習った音楽は好きでしたか？モーツァルト、ベートーベンの肖像画の下で、みんなで合唱をやったりリコーダーを吹いたり…。音楽が好きでできる人はいいけれど、嫌いな人や苦手な人はおいていかれてしまう。それはどうしてなのでしょうか。

「こうでなければならない」という、決まり事を教えることが学校で教えられる音楽なのだとする、とても窮屈なものに感じてしまうのではないのでしょうか。

音楽は奥深くとても自由なものであるということ、大友さんは教えてください。学校で習った音楽とは違う音楽を、今回の講演で知ること、自分自身の自由な生き方を見つけていくきっかけになればと思います。

#### プロフィール

1959年横浜生まれ。実験的な音楽からジャズやポップスの領域までその作風は多種多様、その活動は海外でも大きな注目を集める。また映画やテレビの劇伴作家としても数多くのキャリアを有する。近年は「アンサンブルズ」の名のもと様々な人たちとのコラボレーションを軸に展示作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、一般参加型のプロジェクトにも力をいれている。震災後は十代を過ごした福島でプロジェクトを立ち上げ、2012年プロジェクト FUKUSHIMA! の活動で芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。2013年には「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞他数多くの賞を受賞している。2014年国際交流基金とともにアンサンブルズ・アジアを立ち上げ音楽を通じたアジアのネットワーク作りにも奔走中。札幌国際芸術祭 2017 の芸術監督も務める。著書に『音楽と美術のあいだ』（フィルムアート社）『学校で教えてくれない音楽』（岩波新書）『MUSICS』（岩波書店）、『シャッター商店街と線量計』（青土社）『ぼくはこんな音楽を聴いて育った』（筑摩書房）等がある

<http://otomoyoshihide.com>